

平成27年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

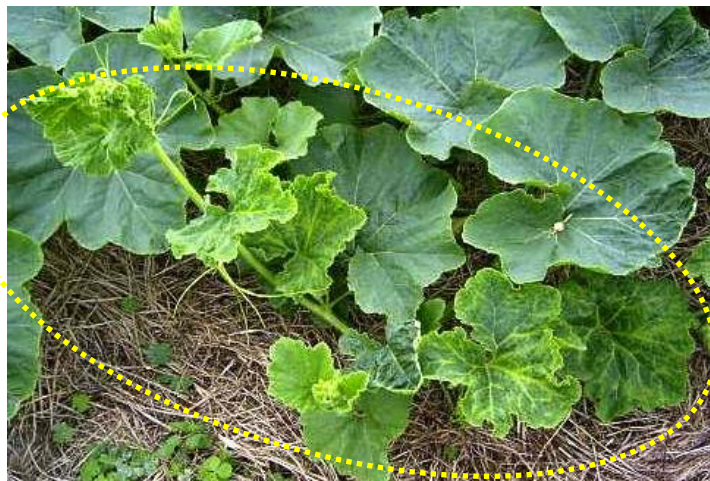
<今月のコラム> ・マンゴーにおける炭疽病の防除対策について ・かぼちゃ細菌性病害の防除対策について
・防鳥ネット設置によるレタスのシロガシラ被害対策 ・シベリア高気圧と季節風

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/ineyo-phero.html>

今月のトピックス

モザイク病 (かぼちゃ)

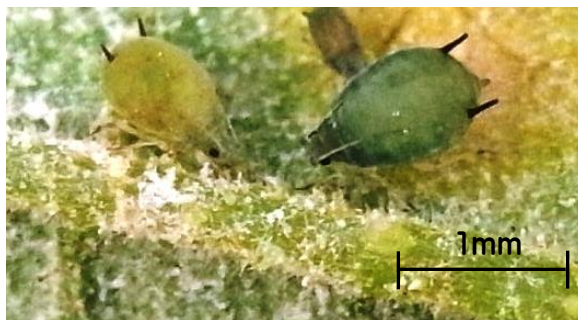
学名 : *Cucumber mosaic virus* (CMV), *Watermelon mosaic virus* (WMV),
Zucchini yellow mosaic virus (ZYMV), *Papaya ringspot virus* (PRSV)



被害株



奇形果



媒介虫(アブラムシ) 左:有翅虫 右:無翅虫

生態と被害

本病はウイルス病で、葉では、はじめ黄色の斑点ができ、次第にモザイク症状を呈する。また、葉脈が白く浮き出たり奇形等の症状を示す。果実では幼果が罹病すると奇形になり易い。単独感染もあるが、2種以上のウイルスに混合感染している場合もあり、その時は症状が激しいことが多い。

病原ウイルスはアブラムシによって媒介されるので、アブラムシの侵入防止および早期防除を徹底する。周辺雑草はアブラムシの発生源になるため除去する。発病株から被害が拡大するため、見つけ次第除去する。また病原ウイルスは汁液によっても伝染するため、管理作業の際はハサミや手をこまめに消毒する。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>

平成27年11月30日

沖縄県病害虫防除技術センター